



「再活」×2

不動産を「再活」し、日本を「再活」する。

平成 31 年 4 月 18 日



各位

会社名 株式会社アルデプロ

代表者名 代表取締役社長

椎塚裕一

(コード番号 8925 東証二部)

問合せ先 執行役員社長室長 荻坂昌次郎

(TEL 03-5367-2001)

## 販売用不動産の売却に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 3 月 17 日付「販売用不動産の仕入契約締結に関するお知らせ」でお知らせした販売用不動産を本日売却いたしました。ただし、売却先が仕入先と同一であるため、当社は売却金額と仕入金額との差額分を売上計上することといたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 販売用不動産の売却について

当社は平成 29 年 3 月 17 日付「販売用不動産の仕入契約締結に関するお知らせ」でお知らせした以下の販売用不動産について、仕入先から当社が仕入契約をした金額を上回る金額で買戻したいとの要望を受けました。当該取引は買戻しに該当するため、当社は当該取引を実行するかどうか慎重に検討いたしました。仕入契約締結の後、出口候補との売却交渉が纏まらず、結果的に仕入契約から約 2 年間が経過しており、この段階で、利益確定させる方が得策であると判断し、これに応じることといたしました。

No.	所在地	種類	総床面積 (㎡)	地積 (㎡)
1	東京都港区	収益ビル	1,486.92	525.55

#### 2. 売却先および取引の概要

上記物件の売却先は上記のとおり、仕入先と同一の東京都に所在する法人です。売却価格につきましては、当該不動産売買契約における売却先との守秘義務契約により公表を控えさせていただきます。なお、本件は売却先と仕入先が同一の取引であるため当社は売却金額と仕入金額との差額分を今期に売上計上いたします。この差額分の金額につきましても公表を控えさせていただきます。

また、売却先は上記のとおり本販売用不動産の仕入先ではありますが、記載すべき資本関係、人的関係はありません。

### 3. 今後の見通しについて

本販売用不動産の売却は、今期業績予想に見込んでおりませんでした。本件により今期において本販売用不動産の売却金額と仕入金額との差額分を売上計上いたします。

尚、上記販売用不動産の売却に関する売上（売上差額）の計上は、平成30年7月期の連結売上高（114億円）の1%未満の金額です。

以上